

山行報告書

作成:2006年5月10日

愛知岳連 岡崎山岳会

山名[山域]	大峰山	目的[方法]	大峰山奥駈道プチ縦走
期間	2006年5月5・6・7日	形態	前泊1泊2日(避難小屋)
参加人数	2人		

行動記録:

5/5(金) 晴れ、微風、

5/5 岡崎s宅 1800 = = 豊田東インター(1820)=名阪針(2000/2030) 洞川温泉(2120)T S1

5/6T S1 (500) 清浄大橋 600/610 洞辻茶屋 800/810-山上ヶ岳 930/940-阿弥陀ヶ森 1105/1115

大普賢 1215/1230 - 覗き(東にもある)1300/1310 - 女人結界分岐 1430 - 七曜岳 1510/1520 -

行者還避難小屋 1710T S2

5/7T S2 530 -ノ埜 640 - 710 奥駈道出合 710 雨気象荒天のため 登山中止を決定エスケープルートを下山

800 行者還トンネル西口

概念図:



日誌:

以外や、以外、連休最終百名山は、大勢の登山者、修験者が来るものと思っていた山上ヶ岳、奥駈道は、人数まばら、静かな山道は、歴史と信仰の荘厳さを十分感じられる山行となった。

修験者たちは、1300年の昔から、この山に何を思って挑んだのか。

感想: 魅せられて 山に入りしも 幾年か 老いて今なお 何を求めむ

奥駈道は、山超え又山、10 数ヶ所の名も無いピークを越え、北アルプス南アルプスとは別の山深さを感じられる。今なお信仰の香り色濃い。 自然と歴史の融合する大峰山は、歴史の重さ、ザックの重さ、足の重さ。 新たな感動です。